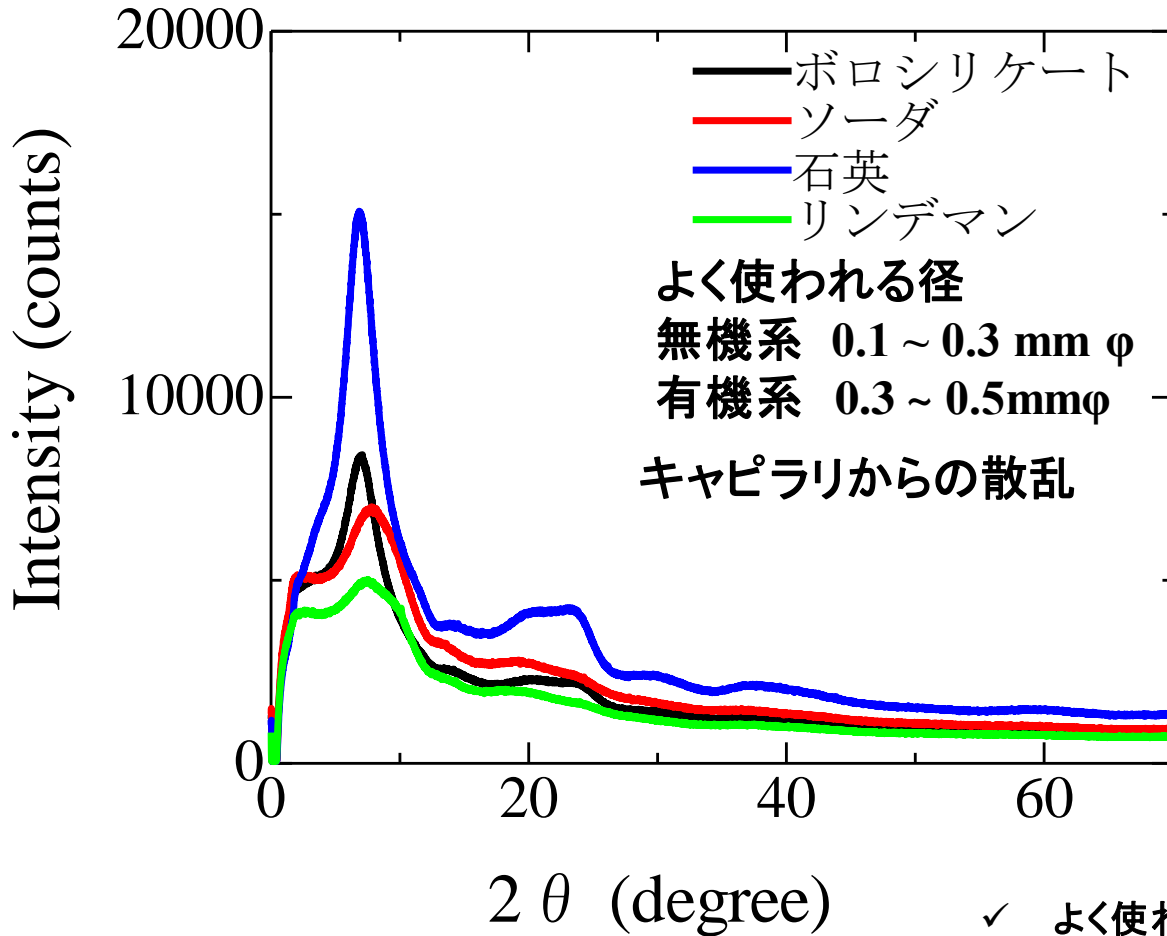


キャピラリの種類と径



約¥10,000
25本入



キャピラリの材質による特徴

- ・ボロシリケート: 扱いやすい、やわらかい
- ・石英: 高温でも使用可能、高バックグランド
高温測定用、
1100-1200°C程度で融解します。
- ・リンデマン: 扱いにくい(割れやすい)、
低バックグランド

- ✓ よく使われるものは0.1 ~ 0.5 mm φ
- ✓ X線の波長と試料による線吸収係数を考慮する。
- ✓ 吸収端を越えるX線を用いると蛍光X線により、S/N比が悪くなるので注意が必要。
→ 試料の構成元素の吸収端を確認しておく。